

地誌 第16回「アフリカ地誌②～アフリカの社会と人口・食料問題～」

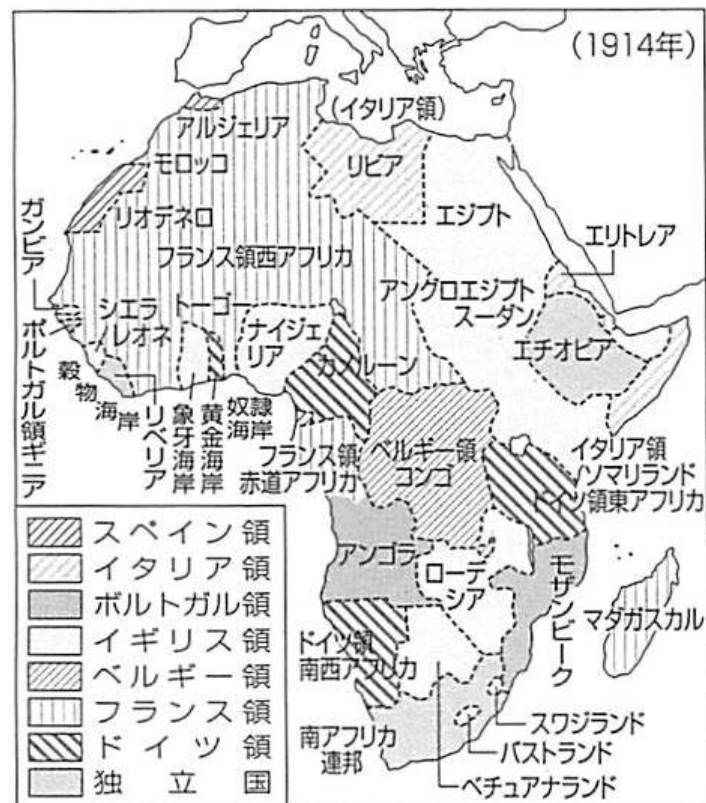
○今回のポイント

アフリカの社会

(1)アフリカの人種、民族

- サハラ以北の北アフリカ
 - ・① (白色人種)のアフリカ・アジア語族。イスラーム教信仰。ホワイトアフリカ。
- 中南アフリカ
 - ・② (黒色人種)のニジェール・コルドファン族。
⇒原始宗教を信仰。ブラックアフリカ。
- マダガスカル
 - ・東南アジアから移住してきたオーストロネシア語族の③ もいる。
- 旧英領植民地
 - ・プランテーションの労働力であった④ も存在
- 南アフリカ共和国
 - ・黒人に加え、⑤ (オランダ系ボーア人)、イギリス系白人、インド系など多数。

(2)アフリカの旧宗主国



- アフリカの国境と民族分布
経緯線によって国境を区切られた⑬。
1民族が分断されたり、1つの国に対立民族が混在化したりする要因に。

- 英領
 - ・アフリカ⑥ 政策
 - ・西部ではナイジェリア、ガーナ
- 仏領
 - ・アフリカ⑦ 政策(アルジェリア等)
- 伊領
 - ・⑧、ソマリア、エリトリア
- 独領
 - ・カメルーン、ナミビア、タンザニアなど
- ベルギー領
 - ・⑨
- 植民地以外
 - ・⑩ …アフリカ唯一の現地人国家だったが、ムッソリーニのイタリアに併合される。
 - ・⑪ …アメリカ解放奴隷が建国
 - ・南アフリカ連邦…イギリスの4大自治領。
 - ・エジプト…イギリスの保護国から第一次大戦後独立。
- 1960年⑫ (17か国独立)

中南アフリカの人口問題、食料問題

(1) 中南アフリカの人口問題

○人口抑制策が浸透しない理由

- ・農業が経済の中心であり、子どもは重要な[14]
- ・[15]の低さや女性の地位の低さ ⇒避妊具を用いない性交渉が盛ん

○アフリカにおける死因

- ・風土病⇒マラリア、デング熱、黄熱病や、[16]が媒介する睡眠病(人畜に感染するのでギニア湾岸では家畜が飼えない。白人はツェツェ蠅がいないケニア高原に住んだので[17]と呼ばれる)
- ・[18]…後天性免疫不全症候群。血液・精液・膺分泌液を媒介にして起こる。アフリカでは人口問題で扱ったように、避妊具を用いない性交渉が盛んなので、エイズ罹患率が高い。
- ・食料不足の慢性化による栄養状態の悪さ

(2) 中南アフリカの食料問題

○自然的影響…[19]

○人為的影響…砂漠化

- ・過耕作…休耕期間の短縮などによって地力が低下
- ・過放牧…草地の再生能力を超えた過剰な家畜の放牧
- ・[20]の過剰伐採…薪などの燃料需要の増加
- ・[21]…サハラ砂漠南縁部。セネガルからニジェール、ナイジェリア北部を経て、スーダンにいたる東西に広がる帯状の地域。

○植民地時代の禍根

- ・商品作物栽培…[22]農業が展開され、現地住民の主食穀物の栽培よりも輸出向けの商品作物の栽培が優先される。優良な農地の大部分は商品作物向けの栽培用となり、天然ゴムやカカオ豆などの商品作物の大規模栽培が行われる。
- ・[23]…一国の経済が特定の1次製品の生産や輸出に依存する経済体制のこと。生産量や国際価格の変動により国全体の経済が左右されやすい。アフリカ諸国は外貨獲得のために商品作物の栽培が優先されることも食料不足の一因となっている。
- ・[24]…奴隷貿易・植民地支配により、経済・社会の発展が阻害されたことも食料問題の原因の一つ。奴隷貿易は16～19世紀に行われ、ギニア湾岸から南北アメリカへアフリカ黒人を奴隷として連行した。

(3) [25] アフリカ連合

アフリカ諸国団結のため1963年に[26](OAU)が結成された。2002年にはさらに連帯を強化するためにアフリカ連合(AU)に生まれ変わった。モロッコを除く52か国と西サハラが加盟し、8億人をこえる世界最大の人口規模を持つ国家連合体である。欧州連合(EU)をモデルに国家の枠を超えた議会・裁判所・中央銀行の設置を掲げている。